

# 令和3年度事業報告

## 事業概要

昨年度から続くコロナ禍にあつて、令和3年度も厳しい社会情勢となりました。「緊急事態宣言」「まん延防止等重点措置」が繰り返し発令されたことから、その都度、会員の健康、安心・安全の確保、感染拡大防止の観点から就業、研修会、交流会等の自粛、規模縮小、中止等を図り事業を進めて参りました。こうした中、昨年6月高齢者を優先とした「ワクチン接種事業」がスタートしたことから、当センターとしても会員の感染予防対策としてワクチン接種の推奨を積極的に行つて参りました。2回目、3回目のワクチン接種効果として高齢者の新規感染者、重症化は減少したものの若年層を中心とした新規感染者が急増していることから、マスクの着用等基本的な感染予防対策を講じるよう注意喚起を促して参りました。

令和3年度は、第四次中期事業計画(4カ年)のスタートとなることから、各数値目標の達成に向けて取り組みましたが、会員数(目標値570名)、就業率(目標値80%) 請負委任就業延人員(目標値31,503人日)、派遣事業就業延人員(目標3,078人日)、ボランティア活動(目標値400人日)といずれも目標値達成には至りませんでした。

事業実績(派遣事業除く)は、会員数が494名(男性303名・女性191名)、受注件数が1,103件、契約金額が214,307,504円、就業延人員が29,594人日、就業率77.5%、ボランティア活動延人員211人日の実績となりました。

前年度との比較においては、会員数、就業率、受注件数は実績増となりましたが、契約金額、就業延人員、ボランティア活動延人員は実績減となりました。

会員の状況については、新規会員が54名(男性28名・女性26名)に対して、退会者が52名(男30名・女性22名)で、結果として前年度(492名)より2名増の494名となりました。

訪問家事援助事業(新総合事業)については、コロナ禍の影響等から受注件数、契約金額、就業延人員といずれも前年度実績減となりました。

労働者派遣事業については、前年度に引き続き、沖縄県連合と緊密な連携を図り、事業を推進したところではありますが、受注件数はわずかに増加したものの、コロナ禍の影響で契約金額、就業延人員といずれも減となりました。

なお、各事業内容の状況については、次のとおりとなっています。

## 事業実績

(1) 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の提供

- ① 第四次中期事業計画の各数値目標を達成するため、企業や公共機関、一般家庭等からの受託事業により就業機会の確保・拡大を図るとともに入会促進を図りました。

第四次中期事業計画(目標値と実績)

	目標値	実績	達成率
会員数	570名	494名	86.6%
就業率	80.0%	77.5%	96.8%
就業延人員(請負委任)	31,503人日	29,594人日	93.9%
就業延人員(派遣事業)	3,078人日	1,508人日	48.9%
ボランティア活動	400人日	211人日	52.7%

②事業実績(前年度との比較)

	令和3年度	令和2年度	前年度比較	前年度対比
会員数	494名	492名	2名	100.4%
受注件数	1,103件	1,033件	70件	106.7%
契約金額	214,307,504円	216,000,006円	△1,692,502円	99.2%
就業延人員	29,594人日	30,296人日	△702人日	97.6%
就業率	77.5%	74.0%	3.5%	104.7%
ボランティア活動	211人日	239人日	△28人日	88.2%

- ③福祉・家事援助サービス事業の拡大を図るとともに訪問家事援助事業(新総合事業)も積極的に取り組みましたが、コロナ禍等の影響からいずれも前年度実績減となりました。当事業は室内就業であることからコロナ感染予防対策を徹底するため、市役所所管課等と連携し、就業規制を図りながら実施しました。また、就業会員のPCR検査を実施するなど安心・安全対策に万全を期し取り組んで参りました。

訪問家事援助事業

	令和3年度	令和2年度	前年度比較	前年度対比
受注件数	65件	67件	△2件	97.0%
契約金額	2,786,900円	3,001,600円	△214,700円	92.8%
就業延人員	1,922人日	2,144人日	△222人日	89.6%

- ④ 就業の提供にあたっては、均衡化・適正化を図る観点からグループ就業やローテーション就業の推進に努めました。
- ⑤ 独自事業は、会員がその知識と経験・技能を生かし、企画・運営、創意工夫により就業機会の創出を図る事業であります。実績を上げるまでには至りませんでした。

(2) 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の提供

① 有料の職業紹介事業

雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業を希望する高齢者のために有料の職業紹介事業を行う形態であります。今年度は希望する高齢者がいませんでした。

## ② 労働者派遣事業

会員の就業機会の拡大を図るため、臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業の範囲で労働者派遣事業を実施しましたが、受注件数はわずかに増となったものの、コロナ禍の影響等で契約金額、就業延人員は減となりました。

### 労働者派遣事業

	令和3年度	令和2年度	前年度比較	前年度対比
受注件数	41件	37件	4件	110.8%
契約金額	8,964,283円	10,100,901円	△1,136,618円	88.7%
就業延人員	1,508人日	1,568人日	△60人日	96.1%

(3) 臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業に必要な知識及び技能を付与するための講習会を開催しました。

① 対象：正会員・一般市民

② 講習内容

ア 刈払機・チェーンソー・トリマーの技能講習会を実施しました。

刈払機講習会 当センター会議室で講義・グラウンド内除草実技

①令和3年7月30日(会員9名 一般2名)

②令和3年9月24日(会員10名 一般3名)

③令和3年12月24日(会員11名 一般0名)

④令和4年3月25日(会員2名 一般1名)

機械取扱い講習会 当センター2F 広場で実技講習

① 令和4年3月25日(会員14名)

イ 清掃業務の技能講習会を実施しました。

日 時 令和3年12月17日

場 所 市社会福祉センター2F レク室

講 師 共栄ビル整備(株)社長 山城 弘氏

参加者 会員20名 一般1名

ウ クロキの剪定技能講習会を実施しました。

日 時 令和3年11月26日

場 所 当センター前広場

参加者 会員11名 一般2名

エ 接遇マナー講習会は、コロナ禍のため中止となりました。

(4) 上記(1)～(3)の事業を推進するための諸活動及びその他の社会参加活動を推進するための諸活動

① 普及啓発

効果的かつ効率的な普及啓発活動を推進するため、一般市民、事業所、官公庁等への普及啓発活動を行いました。

ア 市広報誌を活用し、毎月、入会促進及び就業拡大について記事を掲載しました。

イ 「会員募集」「就業開拓」チラシを新たに作成し市民への配布等シルバー事業の普及啓発に努めました。

ウ シルバーだより「とよむ」を8月、1月と発行(1,000部×2回)し、会員及び市役所・市立中央公民館・市立中央図書館並びに関係機関に配布しました。

エ シルバー事業普及啓発促進月間(10月)行事の一環として、民間商業施設サンエーウィングシティ交流広場でパネル展(R3/10/6～9)を開催しました。

- オ 市教育委員会主催の生涯学習フェスティバルに、毎回ボランティア活動として参加し、子ども達や来場者に豆腐づくりの体験学習の機会を提供してきましたが、コロナ禍のため中止となりました。
- カ 自主・自立の基本理念に基づき、会員主導の意識強化を図るため普及啓発部会を開催しました。(4回) また、地域班長・副班長会議を開催しました。(4回)
- キ 就業現場でのぼり旗を掲揚し、普及活動を行いました。
- ク 新春交流もちつき大会を予定していましたが、コロナ禍のため中止となりました。
- ケ ホームページを活用し、センターの情報発信を行いました。

## ②安全・適正就業の推進

コロナ禍の状況で、「新しい生活様式」を取り入れたコロナ感染予防の徹底、就業等における安全意識の高揚と啓発を毎日の朝礼で注意喚起を行って参りましたが残念ながら2件(前年度5件)の事故が発生しました。しかしながら、前年度より3件の事故減少となっていることから、会員の安全意識の高揚が徐々に高まっているものと考えます。

- ア 安全掲示板を設置して無事故日数を表示し、安全意識の高揚を図りました。
- イ 安全就業・健康管理の周知徹底を図るため、安全・適正就業推進大会(7月)を予定していましたが、コロナ禍のため中止となりました。
- ウ 安全就業委員を各職群班から選出し、安全・適正就業の意識高揚に努めました。
- エ 安全就業委員会を開催(3回)しました。
- オ 機械・器具等の事前・事後の点検及び整備の強化を図りました。
- カ 就業に必要な安全防具・防護ネット・立看板・パイロン等の整備に努めました。
- キ 会員の健康保持・増進及び生活習慣病の予防を図るため、特定検診の受診を促進しました。
- ク 安全就業推進員を配置し、現場の見積り時点で安全性の確認を行いました。
- ケ 毎朝、事務所前広場において、検温チェック、ラジオ体操を行い、安全就業推進員から安全・適正就業等に対する注意喚起を行いました。
- コ 安全就業推進員による安全パトロール(425ヶ所)及び県連合(安全・適正就業パトロール指導員)との同巡回指導(4回)を実施しました。
- サ 理事長・事務局長による安全パトロール(11回)を実施しました。
- シ 安全就業委員による安全パトロール(12回)を実施しました。
- ス 「安全就業基準不履行等会員に対する減点措置制度」(ペナルティ制度)を周知し、安全に対する意識の高揚を図りました。
- セ 「新型コロナウイルス感染予防対策」として、毎朝「うがい」「手洗い」「人ごみを避けましょう」の注意喚起を図りました。

## ③調査研究

前年度に「会員アンケート調査」を実施したことから、今年度は「発注者満足度アンケート調査」及び「就業機会意向アンケート調査」を令和3年9月から令和4年2月までの期間実施しました。「発注者満足度アンケート調査」では、173件(71%)の高い回答率が得られました。アンケート調査からは今後も当センターを「利用したい」とする回答が168件(97%)あり、発注者が当センターの仕事に対し高い満足度を示していることがわかりました。また「就業機会意向アンケート調査」のアンケート調査結果からは、当センターを利用したことがない理由を聞いた設問では「今のところ人

手が足りている」が最も多く、一方「価格が合わない」や「高齢・素人だから不安」との回答はありませんでした。

#### ④ 就業分野の開拓・拡大

地域の一般家庭、事業所、官公庁等を訪問し、高齢者に適した就業を開拓するとともに、入会の促進を行いました。

ア 就業機会開拓推進員が一般家庭・事業所等を戸別訪問し、就業機会の拡大を図ることとしていましたが、新型コロナウイルス感染予防のため戸別訪問での説明は自粛し、チラシの配布を中心に実施しました。

イ 会員がチラシ配付をして会員確保・就業機会の拡大を図りました。

ウ 就業現場周辺で、のぼり旗を設置し、就業開拓、入会促進を図りました。

エ 就業機会開拓推進員が発注者を訪問し、再受注（リピーター対策）を図りました。

#### ⑤ 相談・情報提供

ア 入会を希望する高齢者を対象に定期的に入会説明会（毎月15日）を行うと共に、必要に応じた臨時の入会説明会（個別を含）等を実施しました。また、センターの基本理念及び趣旨並びに事業内容を紹介し、入会の促進を図りました。

（定期説明会 11回 50名、個別説明会 17回 21名 計71名参加・54名入会）

イ シルバー事業普及啓発月間の一環としてパネル展示を市内商業施設で初めて開催いたしました。その結果、来場者数511名と倍増し、入会希望者も7名と広く市民への周知が図られました。

#### ⑥ 社会参加活動の推進

ボランティア活動を希望する高齢者を対象に、一般市民と連携して社会参加活動を実施しました。

ア シルバー事業普及啓発促進月間（10月）行事の一環として、市総合公園清掃、市社協前から市中央公民館前の黒木剪定活動を実施しました。コロナ禍のため規模縮小で実施。（延べ96人日参加）

イ 交通安全街頭指導のボランティア活動を夏期・秋期・冬期の年3回実施しました。（延べ115人日参加）

#### (5) 組織・事務局体制の整備強化

① 理事会を定期的開催（11回）し、組織の活性化及び運営体制の充実強化に努めました。

② 市長部局から出向職員を受け入れ、組織の充実強化を図りました。

③ 健全かつ効率的な事業運営を図るため、事務事業の改善に努めました。

④ 事務局会議を開催（毎週1回）し、情報の共有・相互連携に努めました。

⑤ 会員、発注者及び役職員に対してガイドラインの周知徹底に努めました。

⑥ 全シ協や県連合が実施する各種研修会（コロナ禍のためオンライン会議）等に参加し職員の資質の向上に努めました。